

No.220
2025.3.21
(令和7年)

響き

庄原コミュニティセンター報

庄原のうき

令和7年1月31日現在 前月比
世帯数.....2,787戸 (+15)
男 性.....3,623人 (+12)
女 性.....3,837人 (+9)
合 計.....7,460人 (+21)

発行/庄原コミュニティセンター

出雲市別荘原3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

つながる庄原 笑顔の未来

活かそう 人を 歴史を 資源を

2/24
(月)

子どもクッキング教室 見て楽しい、食べておいしい 春告げるひなまつりメニュー

庄原子ども教室



包丁使いも
上達したよ!

JAしまね「ふあみーゆ」を会場に、庄原小学校4年生以上14名の参加で、恒例のクッキング教室を行いました。この日のメインは「お内裏様とお雛様」。おにぎり、色んな素材を用いて飾ります。クッキーづくりやデコレーション等の講師に須田美和さんをお招きし、細かな点まで見本を示してもらいながら挑戦しました。

クッキング教室は、福島伸子さん、青野典子さん、岡初枝さん、小松原千恵子さんのご協力によって実施しています。参加する子どもたちが笑顔になるよう、各回ともアイデアを出し、工夫してくださいます。いつも事前の準備や最後の片付けまでご配慮いただき本当にありがとうございます。



かわいく
できたよ!

<長年参加した6年生の子どもたちの感想>

- ・今日が最後のクッキングです。野菜の切り方や、炒め方ができるようになったので良かったですと思いました。
- ・最後のクッキングでした。振り返ってみると、豆腐や野菜の切り方などいろんなことを知ることができてよかったです。
- ・家でも料理をして、家族に食べさせてあげたいです。

2/20
(木)

3/3
(月)

庄原駅キレイ 斐川東中学校有志のみなさん ありがとうございました!



時おりみぞれの降る寒い中、斐川東中の有志の皆さんが地域に貢献しようと、JR庄原駅の清掃奉仕活動に取り組みました。窓や壁の拭き掃除に、くもの巣取り等丁寧に一生懸命掃除し、おかげさまで駅舎はピカピカになりとても気持ちよくなりました。東中の皆さん、寒い中ありがとうございました。



2/12
(水)

講演会

「学校給食の先生が教えてくれる栄養のおはなし」

自主企画事業

こども倶楽部



斐川学校給食センターから栄養教諭の遠藤未来さんをお招きし、「給食」をメインテーマに、食事と栄養についてのお話をいただきました。

斐川学校給食センターでは、出雲市、斐川町産の食材がふんだんに使用されていることや、給食1食で摂れる栄養素について、調理の工夫など、スライドを使用して丁寧に説明していただきました。あわせて、給食の人気メニューのレシピ紹介もあり、全般的に好評でした。

また、給食センターの様子も、映像で紹介してくださり、機械化が進められている様子や徹底した消毒、食器や野菜の洗浄、調理の様子など、普段目にする機会のない光景に皆さんも興味津々。金属探知機を使用して異物が混入しないよう注意しているという話には、「へえー」と声が上がっていました。

簡単に栄養バランスを整える工夫として、「朝ごはんは、具沢山の味噌汁と、パンかご飯。我が家はいつもこれです」と教えていただきました。毎年、畑作り・味噌作りを通して子どもたちと関わっている「こども倶楽部」としては、「やっぱり味噌っていいんだね」と再確認できる嬉しい一言でした。

参加者の声～アンケートから～

- ・地元の食材がかなり使われていることに感謝。子どもたちが食べてくれることを願う。
- ・給食の献立など具体的に説明され、孫がいるのでとても参考になりました。不足しているものは食べさせたいなと思いました。レシピも興味してみたいです。
- ・給食は子どもたちの栄養について考えられているので、家ではなかなかとれない分がとれるのはありがたいと思います。衛生面も安心できました。

20代から80代まで



1日に必要な野菜(例)
これくらいなら
とり入れられそう?!

東部保育園



おいしくな～れ!



荘原保育園

1/24(金)
東部保育園

2/7(金)
荘原保育園

保育園の子どもたちとの味噌作り

自主企画事業

毎年、「こども倶楽部」は、1月の下旬から2月の中旬にかけての寒い時期に保育園のこどもたちと味噌を仕込みます。寒さの厳しい時期は、空気中の雑菌が少なく、ゆっくり発酵と熟成が進むため、美味しい味噌ができると言われています。出来上がった味噌は、給食としてこどもたちの口に入ります。

この自家製(自園製?)味噌に使われる大豆は、昨年の記録的猛暑のため、枯れてしまいそうな危機にさらされていましたが、部員交代でせっせと水をやり、大切に育てました。そんな大事な大豆なんだよとこどもたちに伝え、楽しく味噌作りをしました。こどもたちも全身を使って(!)、みそくり機で大豆をつぶし、麹と塩を混ぜ、樽に詰めました。きっとおいしい味噌が出来上がることでしょう。

2/15
(土)

古布収集 & 防災教室



「やまももの会」が長年行っている古布収集を今年も行いました。皆様から寄せられた古布やタオルなどは環境福祉部により荘原地内3ヶ所の施設(社会福祉法人金太郎の家、グループホーム萌、デイサービス向日葵の家)に寄贈しました。

今年度の研修は、日本赤十字社島根県支部防災セミナー指導員の福田直人さんを講師に「自然災害に学ぶ」防災研修を行い、33人の参加がありました。

2011年3月11日の最大震度7の三陸沖を震源とする東日本大震災の時の日本赤十字社宮城県支部石巻赤十字病院内の救護体制の記録映像を見ました。

石巻病院では地震発生後すぐ病院ロビーを片付け、傷病の緊急度、重症度など治療優先順位を決めるトリアージをし、救護体制の医師などが医療の最前線として機能した迅速な活躍は、日頃の訓練なくしては出来ないと感じました。



1班
1/14
(火)

2班
1/16
(木)

3班
1/24
(金)

「おいでませの会」新年会

～今年も元気に活動できますように～

ふれあいサロン
おいでませの会



「おいでませの会」は、今年度も各班ごとに新年会を実施しました。今回は、荘原コミセンや出雲市内の他のコミセンで活動してられる、「詩吟教室」のみなさんに出演を依頼し、「短歌 あさみどり」「俳句 元旦や」「松竹梅」「武田節」など、お正月にふさわしい十数曲を披露していただきました。詩吟は、漢詩や和歌、その他さまざまな形態の詩句に節をつけて自分の声で表現する芸術です。

当日は、抹茶に和菓子をいただきましたが、ボランティアさんが折られた折り鶴が添えられていて、心遣いを嬉しく思いました。詩吟教室のみなさん、ボランティアのみなさんのお力で、お正月らしい雰囲気の中、気持ちも新たに「おいでませの会」をスタートすることができました。



1班
2/18
(火)

2班
2/20
(木)

3班
2/14
(金)

荘原小学校1年生と「昔遊び交流」

一緒に遊んで元気や優しさを分け合いました

2月の「おいでませの会」は、毎年恒例の荘原小学校1年生さんと各班ごとに昔遊びを通して交流をしました。

最初に1年生さんから歌のプレゼントがあり、その後グループに分かれた子どもたちが、こま回し、けん玉、お手玉、あやとり、めんこのコーナーを回って、会員さんやボランティアさんと交流しました。

昨年6月に行った「七夕交流」から8ヶ月後の今回の交流でしたが、会員さんやボランティアさんから「歌がとっても上手で感動したわ」「こまを上手に回せる子どもがいて感心したよ」「あやとりをしているときにこちらが、どうだったかな……」と聞いていたら教えてくれる子どもがいて嬉しかったわ」など子どもたちの成長を感じられる言葉が寄せられました。

昔遊びのノウハウを伝えるだけが目的ではなく、お互いに元気や優しい想いを伝え合える良い交流になりました。



2/11
(火)

地域小サロン

ちびっこたちも「スポーツ吹き矢」に挑戦!

「川東ミニミニサロン」は、毎月第二・第四火曜日の午前中に開催しています。

「いすも井でラジオ体操」をみんなで一緒にしたあと、毎回スポーツ吹き矢に取り組んでいます。

2月11日のサロンは祝日のため、普段は参加できない子どもたち、お父さん、お母さんの参加があり、大変にぎやかな楽しいサロンになりました。子どもたちや若いお父さん・お母さんの参加は年に数回しか叶いませんが、元気パワーをもらえる貴重な機会であるため、今後も継続していきたいと思っています。



川東ミニミニサロン

2/15
(土)

古布収集 & 防災教室



「やまももの会」が長年行っている古布収集を今年も行いました。皆様から寄せられた古布やタオルなどは環境福祉部により荘原地内3ヶ所の施設(社会福祉法人金太郎の家、グループホーム萌、デイサービス向日葵の家)に寄贈しました。

今年度の研修は、日本赤十字社島根県支部防災セミナー指導員の福田直人さんを講師に「自然災害に学ぶ」防災研修を行い、33人の参加がありました。

2011年3月11日の最大震度7の三陸沖を震源とする東日本大震災の時の日本赤十字社宮城県支部石巻赤十字病院内の救護体制の記録映像を見ました。

石巻病院では地震発生後すぐ病院ロビーを片付け、傷病の緊急度、重症度など治療優先順位を決めるトリアージをし、救護体制の医師などが医療の最前線として機能した迅速な活躍は、日頃の訓練なくしては出来ないと感じました。



また、災害の備えとして逃げ遅れてしまう心の働きとして

- ・身の周りに起こる危険をイメージしておく
- ・率先して逃げる人になる
- ・どこに逃げられるか、どうするか家族と話し合っておく
- ・地域との関わりを大切にしておく

などが大切なことであると学びました。

その他にも日常備蓄として3～4日分準備。ローリングストック法で食べた分を買い足して備蓄しておくことの大切さを知りました。ローリングストック法とは、普段から少し多めに食材を買っておき、使ったら買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法のことです。

講演会終了後ダンボールベッド、簡易トイレ、パーティションの組立、解体の仕方を福田さんの指導のもと体験しました。

最近の自然災害は洪水、地震など以前とは比べものにならず、身を守るためにもいかに日頃の備えが大事なのか改めて考えさせられる研修になりました。



女性クラブ
「やまももの会」

2/16
(日)

接ぎ木講習



福島博さんを講師に、接ぎ木講習会を行いました。講師の福島さんには、プロジェクターでの座学に始まり、実技まで大変丁寧に教えていただきました。接ぎ木はなかなか難しく、繊細な作業で、皆さん、真剣な表情で取り組んでおられました。



「Showバラの会」では、四季を通してバラに関する様々な講習会を実施しております。自分だけのオリジナルのスタンダード仕立ての薔薇を作りたいという方はぜひ「Showバラの会」の講座に参加してみてくださいね。

3/1
(土)

薔薇の冬剪定と追肥

Showバラの会



春の気配を感じながら、福島博さん指導のもと、総勢13名で、荘原コミセンの薔薇の冬剪定講座と追肥作業を行いました。

毎年恒例となった「バラのオープンガーデン」は、5月17日(土)～18日(日)、24日(土)～25日(日)の開催予定で、荘原コミセンも会場の一つです。その時期に見頃を迎えられるよう、心を込めて作業しました。また、5月18日(日)は、「荘原コミセンこどもマルシェ」も開催予定です!どうぞ皆さん、お誘い合わせの上、お越しくださいね。



5月に見ごろが来るように、今はさっぱりと剪定



写真でたどるあの日の荘原

Vol.6



まちづくり部



西光院の託児所

～昭和10年(1935)春～

掲示板の記述は次の通り。

「昭和十年春期 第四回託児記念 西光院」

託児所は、保護者が安心して働けるよう乳幼児を預かり、保育した。

荘原コミュニティセンター「まちづくり部」では、引き続き皆様から懐かしい荘原の写真などの歴史資料を募集しています。ご自宅に懐かしい写真などありましたら、荘原コミュニティセンターまでご持参ください。

1/24
(金)

荘原コミセン自衛消防訓練の実施

近隣で火事が多く発生していることもあり、より真剣にコミセン利用者の皆さんと消防訓練ができました。訓練後、消防用設備点検業者の方の指導の下、実際に消火器を使って放水体験を行いました。その後、消火器の成分についてや初期消火の仕方について学びました。各自訓練の内容を反省し、いざという時に役に立てていきたいと思ひます。



ご寄付御礼

香典返し 金一封

松本 恵子様(下新川自治会)
昌子 真二様(大井上自治会)
小松原 朋子様(前原自治会)
佐野 純子様(武部東自治会)
原 善子様(下新川自治会)

皆様からの寄付いただきましたお礼は、荘原地区内の社会福祉施設に活用させていただいております。誠にありがとうございます。ご寄付は、荘原コミュニティセンターまでお送りください。



Instagram公式アカウントのご案内

荘原コミュニティセンターInstagram公式アカウントができました! コミセンで開催するイベント等の情報を発信しております。是非皆さん登録ください。

Instagram

